

【科目名】 動作解析学実習Ⅱ		【担当教員】 浅海岩生、星野浩通							
【授業区分】 専門分野 (基礎理学療法学)		【授業コード】 3-15-0555-0-1		(メールアドレス) igasami@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】 3年次・通年		【選択必修】 必修							
【単位数】 1単位		【コマ数】 18コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・基礎運動学・臨床運動学の教科書を復習しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・レポートは必ず指定した日までに提出すること。									
【講義概要】 (目的) 患者に対して理学療法を実施する上では、患者の動作を観察・分析する必要がある。この科目では、中枢性疾患や運動器疾患患者の動作分析の実際について解説し、それらの結果を臨床的に解釈することの重要性を理解することを目的とする。 (方法) 目視や機器（三次元動作解析装置、表面筋電図など）による動作分析の実習を中心とした授業形態とする。									
【一般教育目標(GIO)】 ・運動解析の基礎的技術を知る。 【行動目標(SBO)】 ・基礎的運動解析手法について説明・実践できる。									
【教科書・リザーブドブック】 ・中村隆一 斎藤宏 他著・『運動学実習 第3版』医歯薬出版, 2004年. ¥3,672									
【参考書】 ・中村隆一 斎藤宏 他著・『基礎運動学 第6版』医歯薬出版,2003年.¥7,344円									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 ・試験はレポートで代替えする。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	30	40	20	0	0	10	100点
評	取り込む力・知識		30	30					60

平成 26～28 年度入学者用

価 指 標	思考・推論・創造の力			30				30
	コラボレーションとリーダーシップ				10			10
	発表力				10			10
	学修に取り組む姿勢						10	10
【授業日程と内容】								
回数	講義内容		授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)			時 間 (分)
1 前期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・グループ分け、スケジュール ・レポートの書き方 		講義・浅海 専攻教室		・配布資料を読んでおく。			15分
2 前期	<ul style="list-style-type: none"> ・立位アライメントについて学ぶ。 ・姿勢の変換に伴う反射について学ぶ。 ・姿勢の運動分析法について学ぶ。 		講義・星野 専攻教室		<ul style="list-style-type: none"> ・人体の抗重力機構について調べておく。 ・姿勢の運動学的分析方法について整理する。 			15分 20分
3・4 前期	<ul style="list-style-type: none"> ・立位姿勢のアライメントを分析する。 ・片側上肢外転位時のアライメント偏移を観察する。 ・立ち直り反射と傾斜反応について運動分析する。 		実習・星野 運動解析室		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の実習手順を読んでおく。 ・レポートをまとめる。 			10分 60分
5 前期	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元動作解析装置の原理を学ぶ。 		講義・星野 専攻教室		<ul style="list-style-type: none"> ・3次元動作解析装置の使用用途を調べておく。 ・この装置により何が明らかになるか整理する。 			15分 20分
6・7・8 前期	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元動作解析装置で立ち上がり動作を測定する。 ・3次元動作解析装置のデータ分析を学ぶ。 		実習・星野 運動機能科学 実験実習室		<ul style="list-style-type: none"> ・前回の配布資料を読んでおく。 ・レポートにまとめる。 			15分 60分
9 後期	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が循環系に与える影響について学ぶ。 ・またこれらの測定方法について学ぶ。 		講義・浅海 専攻教室		<ul style="list-style-type: none"> ・運動と循環器との関連を調べておく。 ・運動負荷試験についてまとめておく。 			15分 20分
10・11 後期	<ul style="list-style-type: none"> ・負荷心電図を取ってみる。P121-126 ・運動負荷試験の実際を学修する。 		実習・浅海、 星野 運動解 析室・体育館		<ul style="list-style-type: none"> ・実習手順を読んでおく。 ・データを整理する。 			15分 20分
12・13 後期	<ul style="list-style-type: none"> ・身体作業能力測定について学ぶ。P127 ・運動負荷時の影響を、呼気ガス分析装置を用いて分析する。(AT ポイント) 		講義・浅海、 星野 専攻教 室・体育館		<ul style="list-style-type: none"> ・換気性作業閾値とは何か調べておく。 ・測定方法について整理する。 			15分 20分
14 後期	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ ・小テスト 		実習・浅海、 星野 専攻教 室		<ul style="list-style-type: none"> ・実習手順を読んでおく。 ・レポートにまとめる。 			60分 20分
15 後期	<ul style="list-style-type: none"> ・誘発筋電図の測定方法とその応用について学ぶ。 		講義・浅海・ 専攻教室		<ul style="list-style-type: none"> ・筋電図について復習しておく。 ・MVC の計算法について整理しておく。 			15分 15分

平成 26～28 年度入学者用

16・ 17 後期	<ul style="list-style-type: none"> 電気刺激装置を使用し神経管の位置を探る。 誘発筋電図を用いて MVC を測定する。 	実習・浅海・ 運動解析室	<ul style="list-style-type: none"> 神経管の解剖学的位置を確認しておく。 レポートにまとめる。 	15分 60分
18 後期	<ul style="list-style-type: none"> 種々の検査法で得られるデータの利用について学ぶ。 小テスト 	講義・浅海 専攻教室	<ul style="list-style-type: none"> 今までの配布資料を読むしておく。 練習問題をおこなう。 	30分 15分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。